

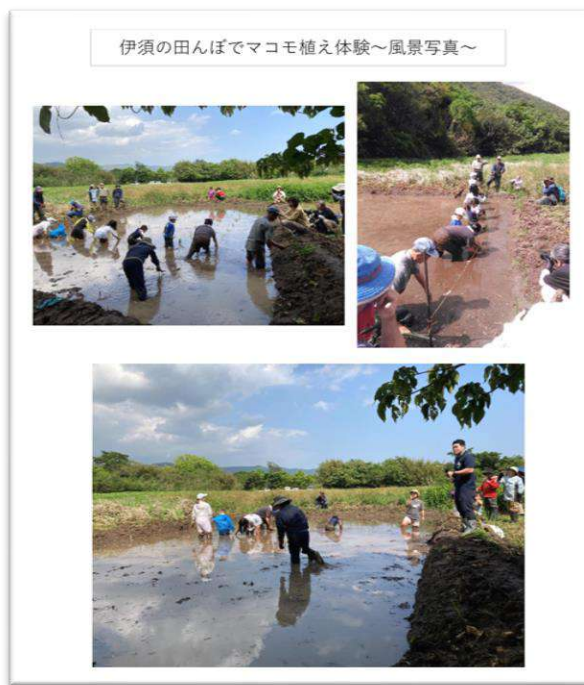
【瀬戸内町】伊須の田んぼでマコモ植え体験（伊須集落役員会）

日 時：令和5年3月28日

場 所：瀬戸内町伊須集落

対象者：嘉鉄小学校校区在住親子（子ども：10人 大人：22人）

内 容：伊須集落に残る昔ながらの田んぼ地で、島唄を味わいながら、マコモの田植え作業を体験する。かつての島の暮らしや、文化、人と自然の関わりを学ぶ。かつて島では協力し合いながら農作業（ゆい作業）をし、作業の時は、掛け合いで作業歌（イトウ）を歌っていたと聞く。里さんには、島唄や作業歌について教えていただき、作業中の田んぼで作業歌（イトウ）を歌っていただいた。



【伊仙町】島っ子ガイド学習会（阿権浜しぜん館）

日 時：令和4年9月23日

場 所：伊仙町立阿権小学校

対象者：阿権小学校全児童（子ども：14人 大人：10人）

内 容：阿権小学校が取組んでいる島っ子ガイド活動の支援策として、これまで島っ子ガイド学習会を複数回行ってきた。今回は、5・6年生が「ウミガメの来る浜」をテーマに環境学習をおこなっていることから、さらに学習の深みをもたせるため、海ごみで傷つき、片足を失ったアカウミガメが再び海に帰るまでの実話を絵本にしたウミガメリブ絵本製作実行委員会の代表である安部さんを島根県隠岐の島町より招聘し、子ども達との交流の機会を設けた。この取組をさらに発展させ、今後の子ども学芸員育成につなげていくとともに、隠岐での環境教育報告会に参加し、子ども達の感想画を照会した。



【徳之島町】海岸清掃環境教育（金見あまちゃんクラブ）

日 時：令和5年2月26日

場 所：金見埼灯台及び金見長浜

対象者：嘉鉄小学校校区在住親子（子ども：58人 大人：149人）

内 容：島内から児童生徒をはじめ、保護者や地域住民207人の参加。エコツアーガイドの説明を聞きながら漂着したペットボトルや漁具、発泡スチロールなどを拾い、普通トラック10台分、軽トラック5台分のごみを回収した。これだけの大量のごみが流れ着いていることに、子ども達も徳之島の環境問題について改めて考える機会となった。



【伊仙町】点々で宝の地図を描く！（徳之島ゲストハウスみち）

日 時：令和4年9月23日

場 所：茶処あがりまた

対象者：未就学児童から中学生及びその保護者（子ども：12人 大人：8人）

内 容：「点々で宝の地図を描く！」というタイトルで、主に子どもを対象とした絵画作品制作のワークショップを実施。オーストラリア先住民の作る「アボリジナル・アート」を現地で学んだ経験を持ち、徳之島の登録エコツアーガイドでもあるのせたかこ氏を講師として招聘。「徳之島にある宝物（動物や植物、風景など）」を、「アボリジナル・アート」の特徴とされる点描表現を用いて、点を打つという誰でもできる表現手法を用い、「宝物を探す」という普段とは異なる視点で島を見つめ直し、島では当たり前にある自然や風景の魅力を再発見。クロウサギ観察小屋を有し、「クロウサギの里」として知られる天城町・当部集落を会場に、島の希少な動植物をより身近に感じていただいた。ここで制作した作品は、東京で開催される子どものアート作品展「できる。できない。じゃない！やってみるんだ！展」に出品し、世界自然遺産の島として徳之島をアピールした。



【伊仙町】コウモリ生息地自然観察（徳之島虹の会）

①日 時：令和5年1月20日

場 所：伊仙町立伊仙小学校

対象者：島内の小学生から中学生と教職員・保護者（子ども：50人 大人：5人）

②日 時：令和5年1月22日

場 所：天城町秋利神

対象者：島内の小学生から中学生と教職員・保護者（子ども：14人 大人：17人）

内 容：アマミノクロウサギをはじめとした、徳之島に生息している野生の哺乳類は現在12種類であるとされているが、その半数である6種類をコウモリが占めている。離島地域にこれだけの種数が生息していることは世界的にも稀であり、中には絶滅危惧種として記載されている種もある。しかし、このことは未だ広く周知がされておらず、島民でも認定エコツアーガイドなど一部の有識者が知るのみとなっている。そのため、特に児童・生徒を対象とした島民への知識の共有と、それによる環境保護意識の醸成を目的として、哺乳類学の専門家で、琉球大学にて長期にわたってコウモリの生態についての研究を進めてこられた伊澤雅子先生（琉球大学教授・北九州市立自然史・歴史博物館館長）を招聘し、島内の小学校での出前授業及び現地での自然観察会を実施した。

① 島内の各小学校に出前授業実施のお知らせを配布し、応募のあった学校の中から、時間の都合のつく学校を選定。伊仙小学校・喜念小学校・鹿浦小学校の児童に合同で出前授業を実施した。



② コウモリの生息地で自然観察会を実施。午前には島内の認定エコツアーガイドが現地を下見、午後からは伊澤先生を交えて、事前に募集し参加申し込みのあった一般参加者と観察会を実施した。



R4年度 奄美群島こども環境学習助成事業活用報告

【和泊町】漂着物について（コンチダホテル）

日 時：令和4年12月3日

場 所：コンチダホテル

対象者：沖永良部島の小学生（子ども：5人）

内 容：荒天の為、座学のみ。西村奈美子先生による奄美群島で拾える海洋漂着物の紹介。漂着物はどこからどのように流れてくるのか？漂着物の分類ゲームなど。浜に下りれなかった為ビーチクリーンができず、松瀬氏には個人で毎日行っているビーチクリーンの内容や、ビーチクリーンでの注意点、浜に生息する危険な動植物についてのお話をいただいた。

ビーチコーミング&ビーチクリーン

日 時：令和4年12月4日

場 所：西原の海

対象者：沖永良部島の未就学児～中学生

（中学生：16人 大人：5人）

内 容：西村奈美子先生による奄美群島で拾える海洋漂着物の紹介。漂着物はどこからどのように流れてくるのか？ビーチコーミングとは何か？種の不思議など様々なお話をしていた後に西原の浜へ。浜では座学で紹介された漂着物を実際に探す。その後、参加者全員によるビーチクリーンを松瀬氏に主導してもらった。

12月3日（土） 10時から12時



12月4日（日）

10時：座学 11時：ビーチコーミング&ビーチクリーン



第1回

ビーチコーミング

12/4

日曜日

9:45 受付開始 10:00 集合

参加費：無料

コンチダホテル駐車場 集合

小学1年生～高校3年生 先着約20名

小学1年生～高校3年生は保護者の付き添いが必要

とっぜん

突然ですが

クイズです！

Q.これなーんだ？

ヒントのてがかりは

“ビーチコーミング”

ビーチコーミング

海岸などに打ち上げられた漂着物を観察したり集めたりすること。

エラブの海でみつよう

ビーチクリーンをしながら

いろんな漂着物を観察します

予約方法

このアカウントへDMをお送りください

- 参加者のお名前
- お子さまの学年
- 保護者様の連絡先

定員に達し次第締め切ります

阿波赤いぞろ人形館長

講師 西村 奈美子 さん

昔の島に暮らして物語です。以前は十九島島民館海からの字匠長。現在は海辺を歩き、不思議な生き物やおもしろい漂着物を探して、子どもから大人まで多くの方へ発信しています。

【天城町】クロウサギに会いにいこう！ナイトツアー（森と海の藝術楽行）

日 時：令和4年10月15日

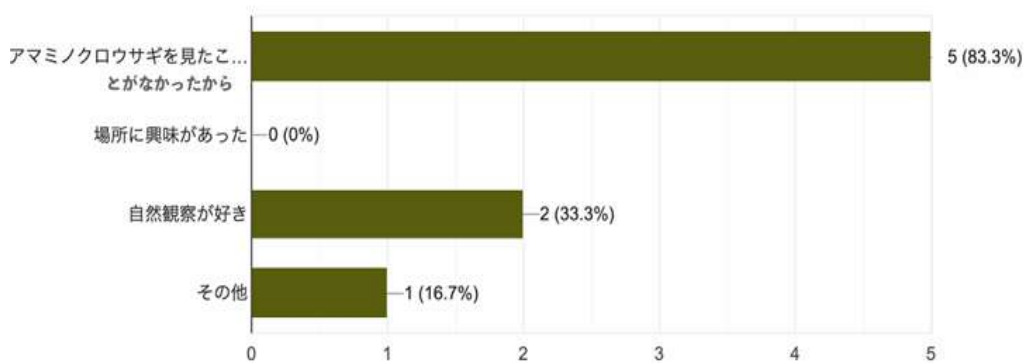
場 所：当部集落

対象者：島内の子どもと保護者（子ども：7人 大人：9人）

内 容：認定ガイドとのナイトウォークを通し初めてクロウサギを見たという方もいらっしゃいました。観察会の後は、地産の飲食を楽しみながら民家に出てくるクロウサギの非公開オリジナルDVDを鑑賞しながらクロウサギの生態を学びました。

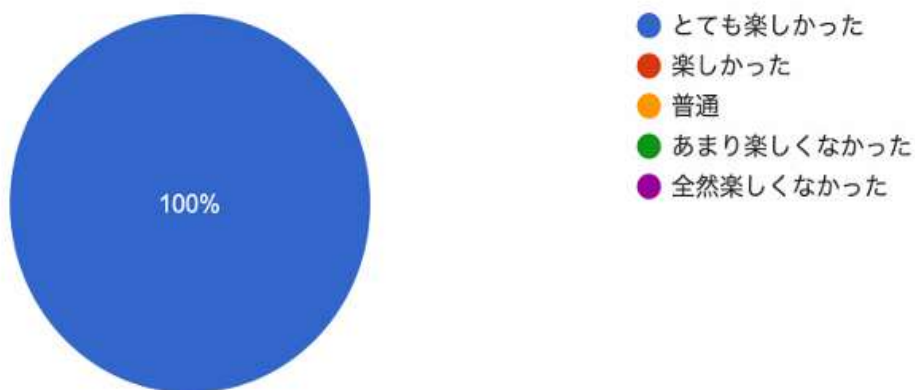
参加の動機は何ですか（複数回答あり）

6件の回答



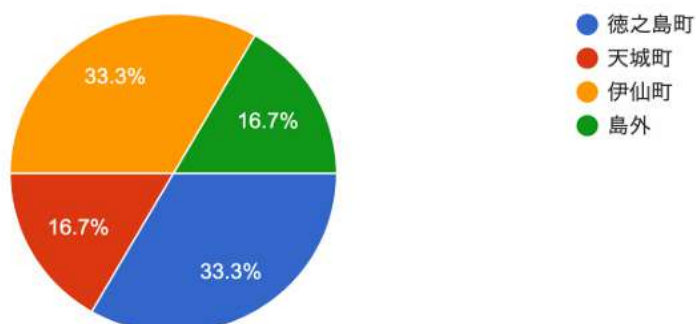
今日は楽しめましたか

6件の回答



住居地

6件の回答



【天城町】「A PLASTIC OCEAN」～プラスチックの海～映画上映会（森と海の藝術楽行）

日 時：令和4年11月13日

場 所：天城町防災センター

対象者：島内外どなたでも（子ども：40人 大人：88人）

内 容：徳之島の海の現状、また私たちには何ができるのか、そして「海ごみARTProject」のことについてご説明させていただきました。環境教育を映画という媒体を通して、子どもと大人も一緒になって学べる機会というのは、非常に有意義なことであると実感いたしました。



観覧者数 128 名



上映会前の

天城町役場教育委員会院田教育長からのご挨拶

【天城町】海ゴミ ARTProject（森と海の藝術楽行）

日 時：令和4年11月13日～12月26日

場 所：天城町立図書館前のガジュマルの木

対象者：島内外どなたでも（子ども：50人 大人：20人）

内 容：映画上映会後にすぐ、海ごみ回収ボックスを天城町図書館の正面入り口と裏口に配置。浮子や漂着物に、吊り下げ用の釣り糸を通す穴を明け、紐を通し、ガジュマルの木に吊り下げていきました。その後、2日間の日程を設け町民の皆様に蓄光シールの貼り付けをご協力いただき、小学生から高校生、そして保護者の皆さんと共に海ごみツリーを制作。同日、海に落ちていたプラスチックゴミを使ったアートワークショップもガジュマルの下で行い、50名近くの参加者がありました。完成したガジュマルの海ごみツリーの前には、一人でも多くの方がこの問題に関心を持ち一緒に考えるきっかけになればと、海ごみ問題について記した手作り看板を設置。今回は、この3つの事業を通し本当に多くの島民の皆様にご参加していただきました。「クロウサギナイトツアー」は、人気イベントではありますが、いつ開催しても夜皆で懐中電灯を持って生き物を観察するという機会が普段あまりないので、皆さんが新鮮に感じ喜ばれる印象があります。島民の皆さんと世界の課題を共有し学べる、非常に貴重で有意義な時間であったと感じます。それに続くように海ごみアートプロジェクトでは、海ごみ問題について考えるきっかけになったのではないかと感じております。

「海ごみアートプロジェクト」 No.1



【参加方法】◆いっせいで楽しく自由参加

- ①海に行ってプラスチックゴミを拾う（いつからでもスタートOK!）
※拾ったゴミは、お持ち帰りして処分してもらえらる施設です！
- ②図書館入口と裏口に設置されている回収ボックスに入れる（12/4迄）
- ③使用するプラスチックゴミに蓄光シールを貼り付ける（12/10・11 当実施予定）
※皆でかきまわらば、後文のシール貼りをしませんが、12月10日の13時から、11日は10時からガジュマルの下で作業予定です。ぜひお気軽にご参加ください！
- ④長いヒモにくくりつけていく
※スタッフにて作業予定
- ⑤ヒモが完成したら、木にくくりつけていく。
※スタッフにて作業

～プラスチックゴミを拾う際の注意点とお願い～

- ゴミを拾う際は必ず手袋をしましょう
※海ゴミの中には危険なものもあります。釣り針や、ペットボトルに入った液体など無いようにご注意ください。
- 集めるゴミのサイズの目安は20cm以内のもの
※20cm以内目安は、小さいお子さんや高齢者の持ちやすさを考慮し。

【お問い合わせ】TEL: 23421・23422 FAX: 23421・23422
〒991-0001 天城町立図書館（天城町立図書館）〒991-0001 天城町立図書館（天城町立図書館）



▲大量に漂着しているプラスチックゴミや浮子映画上映会時、観覧者の皆様にご協力を募り皆でプラスチックゴミを集めていただいた



▼集まった浮き子やプラスチックゴミにドリルで穴を開け、紐にくくりつけたあとガジュマルの木の枝にぶら下げていった

▼貼り付けられたプラスチックゴミに地域の皆さんと蓄光シールの貼り付け



【天城町】海ゴミ ARTProject（森と海の藝術楽行）

▼シールを貼り付けた後は、プラスチックゴミを使ったアートワークショップの実施
シールの貼り付けと合わせて総勢 50 名ほど参加して下さった

No.2



▼参加者の皆さんの作品の一部。主に徳之島にいる生物をプラスチックゴミで表現。



作品には、身の回りにある小枝や葉も利用され、人工物と自然物のコラボレーション作品となった。



▲看板の前で
記念撮影！

▶プラスチックゴミ
を利用した手作り
看板。海ゴミにつ
いてやアートプロ
ジェクトについての
説明を掲載



▼完成！



【天城町】海ゴミ ARTProject（森と海の藝術楽行）

No.3

▼夜のツリー

